

令和3年度第1回鹿児島市地域情報化推進委員会 会議録

日 時 : 令和3年6月10日(木) 13:15~14:15

場 所 : 本館特別会議室

出席者 : (推進委員会委員) 出席10名 ※別紙のとおり
(事務局) 総務部長、ICT推進室長、他2名

- 会次第 : 1 開会
2 総務部長あいさつ
3 委員紹介
4 委員長及び副委員長の選出
5 (1) 第四次鹿児島市地域情報化計画の進捗状況について
(2) 次期鹿児島市地域情報化計画策定事業について
6 閉会

議事概要 : 以下のとおり

発言者	発言内容
【会次第4】委員長及び副委員長の選出	
	・委員長に萩野委員、副委員長に森委員を選出
【会次第5(1)】第四次鹿児島市地域情報化計画の進捗状況について	
事務局	・「資料1-1」「資料1-2」「資料1-3」に基づき説明
委員	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">質疑応答</div> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により結果が出なかった講座の開催や相談業務については、オンライン化によってまた数値が良くなっていくと思う。 ・相談業務のオンライン化の取組などについては、市民の方のリテラシーも上がってきていると思うので、もっといい結果がついてくると思う。
事務局	・コロナ禍により、web会議システムによる相談業務やキャッシュレス決済など、オンライン化を進めた。引き続き、市民の利便性向上のため推進していく。
委員	・民間企業で働いているが、オンライン打ち合わせやテレワークなど、仕事のやり方も随分変わってきた。オンライン化が便利なところは導入して、コミュニケーションが活性化していけばいいと思う。
事務局	・web会議を活用し業務効率化を進めることで、市民サービスの方も充実させていければと思う。
委員	・資料1-1、1-(3)-①、No.18地域コミュニティ連携組織ポータルサイトの運営について、3年とも△で達成していないが、ポータルサイト作成の研修以外にも、地域コミュニティ協議会間で会話や情報共有ができるようなオン

発言者	発言内容
事務局	<p>ライン環境を作ってあげてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校のパソコン導入が進んでいるが、熊本県の方では、端末を各家庭の子供達に配布して、オンライン授業ができると聞いた。鹿児島市でもそういう状況になればとこの数字を見て思った。 地域コミュニティ協議会によっては、会議をするのにオンラインを使っているような話も聞いているが、徐々にオンラインを活用する動きがあると感じる。 学校のパソコンについては、整備が進んでいる状況であると思うので、委員の話を実業課の方へお伝えする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> コロナでICTの重要性が非常に見直された。オンラインをもっと活用するか、色々やり方はいっぱいあり、地域情報計画は積極的に進めていかなければと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今年度新たに地域情報化計画を策定することとしており、その中で、委員の意見を踏まえて進めていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料1-1、1-(5) No.59 図書館電算システムの運用促進に関して、電子図書館サービスの詳細を聞きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館サービスについては、オンラインで蔵書の検索や貸出ができるようなシステムだが、詳細については、今年度図書館で作業を進めているところであり、詳細な情報については、図書館へ確認し、後日回答する。
【会次第5(2)】次期鹿児島市地域情報化計画策定事業について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 「資料2-1」「資料2-2」に基づき説明
委員	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">質疑応答</div> <ul style="list-style-type: none"> CIO補佐官について、新設かと思っていたが、今までもおられたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> CIO補佐官は、今までもおられない。今回、推進本部会議の設置要綱を改正し、令和3年8月1日から、要綱上は情報化アドバイザーという形で推進本部会議へ参加する。この推進委員会においては、事務局の1メンバーとして参加する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> KPIを設定し進捗を管理していくというのは、平時においては非常にいいやり方だと思う。コロナ禍では、KPI未達みたいな状態にならざるをえないという時があるので、柔軟な対応が必要だと思う。

発言者	発言内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 委員のご意見を踏まえ、総括や今後の計画策定作りにおいて、どのように考えていくのかというところを私達の方も研究してみたいと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 過去の経験では、状況によりK P Iを変えたり、検討し直したりした経験があり、委員のご指摘どおり、この急激な社会の変化の中で、計画を見直すというのは起こりうる話。決してK P Iを緩めるわけではなくて、市民生活の中で、適切なK P Iを設定するように、委員会としては努力、提言してかなければと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> この種のI C Tを進める時に、どうしてもネックになるのが個人認証である。今、やりようはマイナンバーしかないと思う。1自治体が頑張っただうなるものでもないというのも分かるが、少しでも普及率が上げられないか思う。 昨年の12月に国が策定した、自治体D X推進計画においても、マイナンバーの普及促進が盛り込まれており、施策が進められると思う。鹿児島市としても国と一体的になって、新しいサービスなどを検討し、施策に盛り込んでいきたいと考えている。

【別紙】

令和3年度第1回鹿児島市地域情報化推進委員名簿

令和3年6月11日現在

No.	役職	氏名	所属		備考
1	委員長	ハギノ マコト 萩野 誠	鹿児島大学法文学部	教授	
2	副委員長	モリ クニヒロ 森 邦彦	鹿児島大学 学術情報基盤センター	センター長	
3	委員	アサイ ミナミ 浅井 南	公募委員		
4	委員	イケダ タケヒサ 池田 武尚	公募委員		
5	委員	カガワ アサミ 香川 麻美	KCS鹿児島情報専門学校	講師	
6	委員	タナカ ミキヤ 田中 幹也	日本政策投資銀行南九州支店	次長兼企画調査課長	
7	委員	トミタ タカコ 富田 貴子	特定非営利活動法人 鹿児島インファーマーシオン	会員	
8	委員	フキドメ ヒロミ 吹留 博実	株式会社鹿児島TLO	代表取締役	
9	委員	マツモト 松元 まや	一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	理事	
10	委員	ミツエダ ショウコ 三枝 祥子	公益財団法人 かごしま産業支援センター	鹿児島県よろず支援拠 点コーディネーター	

※50音順(敬称略)